

# 令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立松江小学校
校長氏名	川野 一郎
作成日	令和7年2月28日

## 1 教育目標

「よく感じ、よく考え、よく行う」子どもを育てる
-------------------------

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力学習状況調査、県学習到達度調査で、県平均を上回る</li> <li>○勉強がわかる85%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の授業が楽しい90%</li> <li>○学校が楽しい95%</li> <li>○いじめの解消100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝ごはんの摂取率100%</li> <li>○体育が楽しい80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携(保護者90%)</li> <li>○学校の情報がよく伝わった(保護者80%)</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎基本の確かな定着</li> <li>◎自ら考える深い学びの推進</li> <li>○自主学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳・人権教育の充実</li> <li>◎いじめの早期発見・組織対応</li> <li>○仲間づくりの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上の推進</li> <li>○早寝、早起き、朝ご飯 運動の推進</li> <li>○体育学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校情報の積極的な発信</li> <li>◎地域の資源の積極的な活用</li> <li>○地域の歴史学習の推進</li> </ul>
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全担任が、道徳の研究授業を行うことができた。</li> <li>○考えを伝える力をつけるため、ペア・グループで話し合いを取り入れている。</li> <li>○どの学級でも自主勉ノートにより、自主学習を行っている。3学期からは特に朝読書にも力を入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全担任が道徳の研究授業を行うことができた。</li> <li>○いじめの早期発見に努めた結果、早期に解決できることがほとんどであった。</li> <li>○個人の意見を尊重しつつ、休憩時間でも集団遊びを行うことに力を入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝ごはんの摂取率は、学校全体で概ね100%を達成できた。</li> <li>○なわとび、持久走、バスケットボール、陸上競技等で体を動かす機会をできる限り持たせた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度も、「家庭科応援団」(高学年)、「昔遊び体験」(1年生)等、地域の方の協力を得た。</li> <li>○特に6年生は総合的な学習の時間で地域と連携を実施し、より深く学ぶことができた。</li> </ul>
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な学力が身についた(保護者85%以上)</li> <li>○児童は、勉強が分かる(低学年約80%、中高学年85%以上)上記、いずれも昨年度に比べ上がってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめの取り組みが分からないと感じている保護者が約26%いるので、いじめ解消に向けた取り組みを今以上に知らせる必要がある。また「分からない」が意味するところを考える必要がある。</li> <li>○学校が楽しい、友達と仲良くする、は95%を超えているが、楽しめていないと感じている子がいることは課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝・早起き・朝ごはんを推奨している。児童は、ほぼ8時までに登校できているので、基本的な生活は確立している。一部生活習慣に課題も見られる。</li> <li>○休憩時間は、ほとんどの児童が外で遊んでいる。特に、冬はなわとびが盛んで、目的をもって活動できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携(保護者90%弱)を感じている保護者が多く、概ね目標が達成できた。</li> <li>○学校・PTAともに地域との連携協力で力を入れてきた。</li> <li>○地域の会議にもよく顔を出し、学校のことを発信してきた。</li> </ul>
改善方法(次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年から基礎基本の定着に努め、自分の思いや考えを伝える機会を増やし、より「わかる」授業づくりを行う。</li> <li>○学校全体で、自主学習を一層充実させるよう取り組む。読書活動もさらに推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめアンケート実施後の取り組み等、保護者への密な連絡を実施し、解消100%を目指す。</li> <li>○一層学校が楽しくなるよう、学校生活の充実を図る取り組みを増やし、学校に來にくい児童の早期発見・早期対応に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝ごはんの摂取率を100%にするために、各家庭への啓発を今後も進める。</li> <li>○外で元気に遊ぶように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域をよく知る児童を育成するため、地域と積極的に交流し、自分も地域の一員であるという意識を作りたい。</li> </ul>

## 3 その他の課題

不登校児童や公的機関にサポートされている家庭が多くなりつつあるが、地域の見守りは非常に心強く、これまで以上に他機関との連携が必要であると考えます。
---